

医療従事者向け ピジョンセミナー

あたたかい心を育む支援

授乳中のお薬と母乳育児支援

～母乳育児を支援するためのWHOと
ユニセフのガイドライン～



母乳育児で多くの不安と質問がある授乳中のお薬。薬剤の母乳への移行やその代謝を正しく理解し安心できる支援をしましょう。周産期母子医療センターでの母乳育児の報告、母乳育児支援者に知ってほしいWHOとユニセフのガイドライン、10steps to successful breastfeeding(母乳育児成功のための10カ条)とWHOコードに関する国際規準について具体的に解説します。

日
時

2020年2月21日(金)

10:30～16:00(受付開始 10:00～)
※途中休憩あり

会
場

仙台

フォレスト仙台
2F フォレストホール
【アクセス】地下鉄「北四番丁」
北2出口徒歩約7分

参
加
費

4,000円(税込)

※参加費には資料等を含みます。
※昼食(お弁当と飲み物)を、ご用意しております。

対
象

母乳哺育・授乳支援などに携わる専門家/助産師/看護師/
保健師/薬剤師/栄養士他、医療従事者 110名様先着順
※定員になり次第、申込受付を終了いたします。

内 容

- お薬の説明書の読み方
 - 薬剤の母乳への移行と影響
 - 薬の成分、分子量の大きさ、服薬のポイント
 - 授乳中に使用できる薬と適さない薬
 - 10steps to successful breastfeeding
(母乳育児成功のための10カ条)の意味と目標
 - WHOとユニセフのガイドラインを理解した母乳育児支援
 - NICUでの母乳育児支援
<グループワーク>
- 「今、母乳育児支援で直面している事例を相談してみよう」 他
※内容・順番は一部変更になる場合があります。

講 師

関 和男 先生

(公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター
総合周産期母子医療センター部長 准教授(小児科医・新生児専門))

プロフィール

1980年横浜市立大学医学部卒業後同大研修医、日赤医療センター新生児科、神奈川県立足柄上病院小児科、横浜市立大学小児科などを経て、2000年より横浜市立大学附属市民総合医療センター母子医療センター講師を務める。2006年組織改変により同准教授、母子医療センター担当部長、2015年総合周産期母子医療センター部長に就任、現在に至る。日本周産期・新生児医学会(新生児)専門医・暫定指導医、新生児蘇生法「専門」コースインストラクター、臨床研修指導医。



お申し込み

2019年12月16日(月) 受付開始

お申し込み
方法

下記、ウェブサイト「ピジョン医療従事者向けサイト」の特設ページよりお申し込みください。
ウェブサイトはパソコンとスマートフォンに対応しています。

URL <https://ai.pigeon.co.jp/seminar/detail-20-seki.html>



セミナー全般に関するお問い合わせ先

ピジョンセミナー運営事務局(PBコンベンション)
TEL:090-8514-2556 e-mail:info@petitbreast.com